

平成18年度(2006年度)横浜市学習状況調査(第3学年)結果

国語科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

通過率から見た時に、5%以上、市より低かった観点は「表現」と「書き取り」であった。表現の中では「伝えたい内容を正確に理解し整理できる」と「文脈に即して適切な表現を補うことができる」が特に低く、書き取りでは「清潔」と「夢」が特に低かった。優れていた観点は、「文学」と「ことばのきまり」であった。特に文学的文章の読解に秀でていたのは、文章の登場人物に感情移入することが生活体験上、容易であったためであろう。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

教科書の読解指導に重点がいきすぎて、表現の積み重ねが不十分だったのだろう。三年間を見通して、表現の力を積み重ねなければならない。書き取りが不十分なものと同じ原因であろう。なぜなら漢字は使わなければなかなか記憶することができない。頻繁に文章を書いていると使用頻度の高い漢字は自然と記憶されていくであろう。

社会科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

今回の社会科は40問ありました。選択したのは現代社会、人権と憲法、政治の仕組み、地方自治の4つで、3年生の前半に習った内容です。通過率で5%以上市平均より低かったのは技能表現分野、資料の読み取りや統計の計算をする分野でした。地方公共団体の仕事という基本事項の知識問題が予想外に正答率が低かった。各問ごとの通過率は市全体の通過率とほぼ同じ傾向となっており、特に低いものは無かった。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

資料の活用の問題の出来がいまひとつであるので、授業の中で数値からグラフを作成させたり数値資料を使った計算問題を行う回数を増やしていきたい。また、文書資料の読み取る力も弱いので、資料集や新聞記事などを利用して、文書の内容の読み取りも多く行いたい。

数学

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

今回の数学は60問ありました。各学校ごとの年間授業計画上、問題内容が学習済みでないものは、学校ごとに削除できることになっていますので、下瀬谷中では、関数と相似の単元を除き44問答えてもらいました。計算を主とする領域では、市の調査結果とほぼ変わらない結果でした。直前に学習した図形の領域においては、基本的な事柄の理解は市の結果を大きく上回りましたが、それらを利用し応用する力の定着までは及ばなかったようです。獲得した知識を利用する練習が必要です。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

基礎的な学習が着実に定着するよう心掛けて指導していますが、今後さらに努力します。授業で獲得した基本的な知識や考え方を活用する場面を、今以上に確保できるよう、授業の組み立てを工夫します。特に、3年生については、公立高校を希望する生徒が多いので、時間の許す範囲で振り返りの機会を設けたいと思います。

理 科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

今回の理科は60問ありました。各学校ごとの年間授業計画上、問題内容が学習済みでないものは、学校ごとに削除できることになっています。下瀬谷中では、1問をのぞき学習済みでしたので全問、答えてもらいました。そのため時間が足りない生徒が少しいました。

1分野のエネルギー・化学変化及び2分野の天体については市の調査結果を上回り良くできていた部分もありました。しかし、細胞と生物のふえ方の問題や2年次に学習した部分についてはふり返りの学習が必要です。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

基礎的な学習が着実に定着するよう心がけていますが、今後さらに努力して指導します。

また、問題を解く力もさることながら、科学に関心をもったり、科学好きの生徒がひとりでもふえるよう、授業を工夫してゆきます。

特に3年生については、公立高校を受検する多くの生徒の学習を支援するため、時間の許す範囲で1年生からのふり返りをしたいと思います。

英 語 科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

◎『聞き取る力』は、市の平均・または平均を越えているものも多く、常駐AETとの日々の関わりの成果ではないかと思う。

●課題は問9の英文文脈の読み取りと単語を『書く力』である。

単語や英文を聞いて意味を理解する事は苦手とはしないが、英文を読解し、単語や英語を書く表現力にさらに力を入れる必要がある。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

○単語テストの習慣化(単元ごとのくりかえしが必要)

○教科書の暗唱から、その英文のディクテーション・またはその英文を書けるようにする。

○長文(wpm)の早読み 等のバリエーションの工夫も必要である。

生活・学習意識調査の分析・検証

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

「学校の授業がどの程度分かりますか」の問いに「よく分かる」、「だいたい分かる」を合わせて37%、市より18%も低い。この原因と考えられる一日の授業以外の学習時間0が17%で、市の9%を大幅に上回っている。また、一月の読書量では、0冊が、50%とこれも市の41%を上回っている。これらが取り組むべき課題であろう。優れている点は、「これまでに何かに一生懸命取り組めた」と自分にプラスイメージを持っている生徒が48%と、市より8%高い点だ。

☆ 家庭との協力の呼びかけ

授業以外の学習時間は、全国的に低落傾向にあるが、それにしても受験を控えた3年生の17%が学習をしていない現実をなんとかしてはならない。学習ができる環境をつくりだすように家庭に呼びかける必要がある。ただ家庭に任せっきりにするのではなく、学校では各教科で学習のモチベーションを高める工夫が必要である。